

南海トラフ巨大地震  
総合研究グループ  
研究集会

平成27年5月19日

京都大学宇治キャンパス  
おうばくプラザ

京都大学防災研究所 澁谷拓郎

# 趣旨説明

# 南海トラフ巨大地震総合研究グループの 目的(1)

- 「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」の全体を横断する形で、南海トラフ巨大地震に関する研究を総合的に推進する。
- 南海トラフ巨大地震を研究対象とする研究課題間の連携調整を緊密にする。

# 南海トラフ巨大地震総合研究グループの 目的(2)

- 東大地震研と京大防災研との拠点間連携における参加者募集型研究「巨大地震のリスク評価の精度向上に関する新パラダイムの構築－南海トラフ巨大地震にともなう災害誘因・素因の相互依存性を考慮して－」と、
- 「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」における南海トラフ巨大地震に関する研究、との連携を図る。

# 「南海トラフ巨大地震」という課題

- どんな地震像が想定されるか？
  - 発生時期は？ 地震規模は？
- どんな被害が想定されるか？
  - 地震災害、津波災害、地盤災害
- (災害軽減のために、)どんな情報を発信できるか？
- 関連する地震は？
  - 日向灘、南西諸島、内陸地震

「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画」における南海トラフ巨大地震を研究対象に含む研究課題一覧

課題番号	研究課題名	担当者	所属
1402	地震発生場の階層性を考慮した地震活動予測	井出 哲	東京大学理学系研究科
1503	日本海溝・相模トラフプレート境界で起こる多様なすべり現象の包括的モデル構築	篠原雅尚	東京大学地震研究所
1509	プレート境界すべり現象モニタリングに基づくプレート間カップリングの解明	小原一成	東京大学地震研究所
1510	相似地震再来特性の理解に基づく地殻活動モニタリング手法の構築	五十嵐俊博	東京大学地震研究所
1513	歴史時代に発生した地震・火山などの災害に関する多角的な研究	佐竹健治	東京大学地震研究所
1516	広帯域・高解像度強震動シミュレーションに基づく大地震の強震動評価の高度化	古村孝志	東京大学地震研究所
1518	データ流通網の高度化	卜部 卓	東京大学地震研究所
1524	日・米・NZ国際協力によるスロースリップでのプレート境界面断層滑りメカニズムの解明	望月公廣	東京大学地震研究所
2701	日本海沿岸地域を中心とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析	矢田俊文	新潟大学
1701	古文書解読による南海トラフ巨大歴史地震像の解明	山中佳子	名古屋大学
1703	南海トラフ域における巨大地震断層域の力学・変形特性の把握	山岡耕春	名古屋大学
1704	地震・津波被害に対する地域社会の脆弱性測定に基づくボトムアップ型コミュニティ防災・減災に関する文理融合的研究	黒田由彦	名古屋大学
1705	精密制御震源システムの標準化と、ポアホール・海域への設置に関する研究	山岡耕春	名古屋大学
1801	地震サイクルシミュレーションの高度化	平原和朗	京都大学理学研究科
1901	史料の収集・翻刻・解析による過去の大地震および自然災害の調査	加納靖之	京都大学防災研究所
1903	プレート境界巨大地震の広帯域震源過程に関する研究	岩田知孝	京都大学防災研究所
1904	南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究	澁谷拓郎	京都大学防災研究所
1905	日本列島変動の基本場解明: 地殻とマントルにおける物性、温度、応力、流動-変形	飯尾能久	京都大学防災研究所
1907	横ずれ型の内陸地震発生物理モデルの構築	飯尾能久	京都大学防災研究所
1910	短スパン伸縮計等を活用した西南日本における短期的SSEの観測解析手法の高度化	西村卓也	京都大学防災研究所
1911	プレート境界巨大地震等の広帯域強震動予測に関する研究	関口春子	京都大学防災研究所
1912	強震動によって発生するすべり現象の発生ポテンシャル評価と事前予測手法の高度化	千木良雅弘	京都大学防災研究所
1915	歴史記録の電子化	飯尾能久	京都大学防災研究所
2301	海域と島嶼域における地震・地殻変動観測による南西諸島北部のプレート境界域テクトニクスの観測研究	八木原寛	鹿児島大学
3001	地殻活動の観測予測技術開発に関する研究	山下 太	(独)防災科学技術研究所
3002	基盤地震観測等データのモニタリングによる地殻活動の理解と予測技術の開発	松澤孝紀	(独)防災科学技術研究所
4001	先端的掘削技術を活用した総合海洋掘削科学の推進	山田泰広	(独)海洋研究開発機構
4002	海域地震発生帯研究開発	小平秀一	(独)海洋研究開発機構
5004	海溝型巨大地震の履歴とメカニズム解明	穴倉正展	(独)産業技術総合研究所
5007	地下水・地殻変動観測による地震予測精度の向上	小泉尚嗣	(独)産業技術総合研究所
6001	プレート境界面上の滑りと固着の時空間変化の広域的な把握	畑中雄樹	国土地理院
6002	GNSSを用いた震源メカニズム即時推定技術の開発	畑中雄樹	国土地理院
6003	GNSS連続観測(GEONET)	畑中雄樹	国土地理院
6004	地形地殻変動観測	畑中雄樹	国土地理院
6005	物理測地観測	畑中雄樹	国土地理院
6012	GNSS観測・解析技術の高度化	畑中雄樹	国土地理院
7006	地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究	小林昭夫	気象庁
7009	海溝沿い巨大地震の地震像の即時的把握に関する研究	勝間田明男	気象庁
7011	津波の予測手法の高度化に関する研究	山本剛靖	気象庁
7012	地震・津波・火山防災情報の改善に係る知見・成果の共有	草野利夫	気象庁
7014	地震観測、地殻変動観測	吉田 康宏	気象庁
7020	防災・減災に関する知識の普及啓発	寺川正之	気象庁
8001	海底地殻変動観測	石川直史	海上保安庁
8002	海洋測地の推進	奥村雅之	海上保安庁
8004	地殻変動監視観測	奥村雅之	海上保安庁

# プログラム

(1講演18分:質疑時間を含む)

## 南海トラフ巨大地震総合研究グループ 研究集会

第1部	西村卓也(京大・防災研)
趣旨説明(10分)	澁谷拓郎(京大・防災研)
東京大学地震研究所と京都大学防災研究所の拠点間連携の枠組みと平成26年度のシンポジウム報告	川瀬 博(京大・防災研)
プレート境界すべり現象モニタリングに基づくプレート間カップリングの解明(1509)	蔵下英司(東大・地震研)
南海トラフ域における巨大地震断層域の力学・変形特性の把握(1703)	山岡耕春(名大)
南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域の構造研究(1904)	澁谷拓郎(京大・防災研)
海域地震発生帯研究開発(4002)	仲西理子(海洋研究開発機構)
広帯域・高解像度強震動シミュレーションに基づく大地震の強震動評価の高度化(1516)	古村孝志(東大・地震研)
休憩(12分)	
第2部	伊藤喜宏(京大・防災研)
古文書解読による南海トラフ巨大歴史地震像の解明(1701)	山中佳子(名大)
海溝型巨大地震の履歴とメカニズム解明(5004)	宍倉正展(産総研)
プレート境界巨大地震等の広帯域強震動予測に関する研究(1911)	関口春子(京大・防災研)
強震動によって発生する地すべり現象の発生ポテンシャル評価と事前予測手法の高度化(1912)	千木良雅弘(京大・防災研)
地震リスク評価に関する不確実性～定量的評価に向けたプラットフォームの構築～	西嶋一欽(京大・防災研)
総合討論(20分)	岩田知孝(京大・防災研)